

社会の革新委員会 活動成果報告会 ～JISA2030「デジタル技術で人が輝く社会」の実現に向けて～を開催

令和5年5月17日、社会の革新委員会は、活動成果報告会 ～JISA2030「デジタル技術で人が輝く社会」の実現に向けて～をオンライン開催した。参加者は全国から120名。

社会の革新委員会では、令和3年度事業計画で新たに設定されたステートメント「[JISA2030～デジタル技術で『人が輝く社会』を創る](#)」の具体化をミッションとして活動してきた。

本年度の活動では、「JISA2030」の具体化を図るために、情報サービス産業からみた2030年の望ましい社会の姿を描くことに注力することとし、シンクタンクの会員企業にドラフトの作成を委託すると共に、ICTを専門とする有識者へのヒアリングを実施した。

当イベントでは、この有識者ヒアリングにご協力を賜ったほか、昨年JISAが実施した『『デジタル社会への円滑な移行』に向けた提言』を受け取ってくださった、牧島かれん前デジタル大臣にビデオメッセージをいただいた。

報告書では、この有識者ヒアリングをふまえて、シンクタンク会員のもつ知見をベースとして現在からの成り行きで推移した未来の姿と、望ましい未来社会の姿とのギャップを10個の解くべき社会課題として抽出し、国連の持続可能な開発目標SDGsと紐付けて整理した。

本イベントは、この[報告書を紹介する](#)と共に、委員会社の社員による未来課題発表セッションを設けて、2030年に向けて我々が果たすべき使命と役割を議論する出発点として開催した。プログラムは次のとおり。

プログラム：

■主催者挨拶・活動総括

JISA 副会長 社会の革新委員会 委員長 長坂 正彦

■ビデオメッセージ

JISA2030の実現に向けた期待(仮題)

前デジタル大臣・衆議院議員 牧島 かれん氏

■報告書紹介

報告書「情報サービス産業からみた 2030 年の社会

～JISA2030 の実現に向けて」の解説

(株)野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部 上級コンサルタント
ト 藤浪 啓 氏

■未来課題発表セッション ～ 個人が輝く時代に向けて

進行役 水野 哲博委員 ((株)構造計画研究所)

◆発表テーマ：「地方を起点とした人材育成とイノベーション創出の取り組み」

齋藤 学氏((株)シーエーシー)

◆発表テーマ：「TOiNX Vision 2030」の実現に向けて～「人(個)が輝く社会」を創るために、私たちができること～

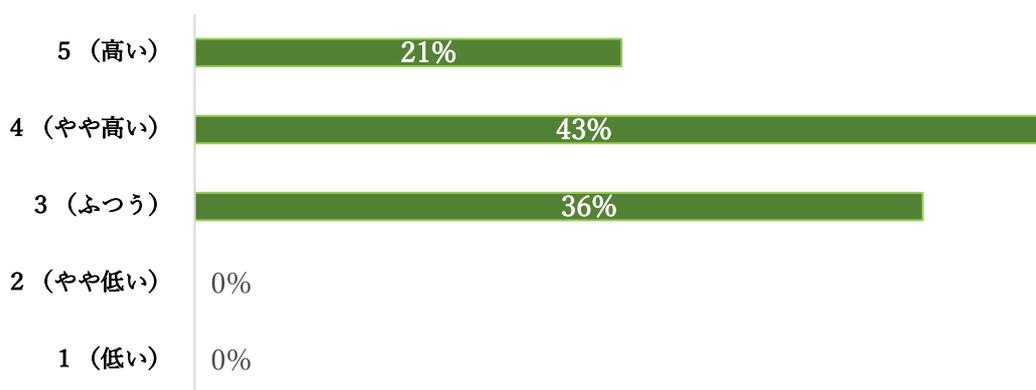
高橋 悠輝氏((株)トインクス)

◆発表テーマ：「これからあるべき地域社会での我々の使命と役割」

加藤 健氏(JISA デジタル社会推進部会部会長 (株)オーイーシー 代表取締役社長)

西川かおる氏、山原 豊氏、財津志帆氏 (所属は(株)オーイーシー)

終了後に実施したオンラインアンケートにて、当イベントの参加満足度を 5 段階評価(高: 5～低: 1) で質問したところ、5 (高い) と 4 (やや高い) を合わせると約 7 割と、参加者の満足度は総じて高い結果であった。



※アンケート回答率：67% (セミナー参加者 120 名・アンケート回答者 80 名)

(田中)